

# 7 道内の市町村、学校、家庭や地域の取組事例

## (1) 市町村教育委員会の取組

### ① 生活習慣・学習習慣の確立 ～地域が一体となって子どもの学びを支える体制づくり～

#### 【A市の9年教育プログラム】（小26校、中14校）

幼児期から小学校・中学校を通じた一人一人の学びと育ちをつなぎ9年間の義務教育の期間を充実させるために、市教委が「9年教育プログラム」を作成し、「エリア・ファミリー構想」を中核として学校・家庭・地域が連携した取組を進めています。



【小中連携による学習サポート】



夏、冬休み中には、地域の方が先生方と一緒に子どもの学習をサポートしています。

【幼保小中合同による講演会】



同じ校区に住む保護者を対象に、子育てについての講演会などを実施しています。

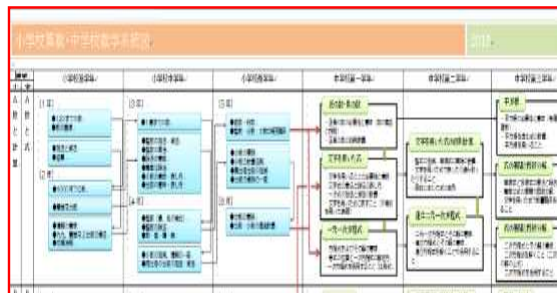
〈取組のポイント〉  
都市部において、地域の連携を促すため、中学校区を一つの家族として考える「エリア・ファミリー構想」を推進し、小・中学校と幼稚園や保育所等が連携して子どもの学びと育ちを支える体制を整え、エリアごとに教職員等による交流や研修会、保護者向けの講演会を実施するなどの取組を進めています。

### ② 9年間の連続性を踏まえた指導 ～小中一貫教育の導入に向けた仕組みづくり～

#### 【B町の小中の一貫した取組】（小2校、中2校）

町教委が中心となり、小中一貫型小学校・中学校の設立に向けて、小・中学校での連携による9年間の連続性を踏まえた指導の充実や学習習慣の定着に向けた取組を推進しています。

【9年間の指導の系統図】



各中学校区において、9年間の指導の系統図を作成し、各教員が学年のつながりを意識して指導できるようにしています。

【発達の段階に応じた「家庭学習の手引」】

5・6年生・・・「自立学習」

学習時間 60～70分


- 中学年算数、「算数・計算」を基本に取り組み。
- 自分の採点のために学習を始める。
- 自分の得意な得意分野で、得意な分野で学習する。
- 算数・計算以外の学習（特に読書の取り組み）に取り組み。

中学1・2年生

学習時間 30～90分

- 家で勉強する特別な決意をする。
  - ・毎日なるべく同じ時間に勉強しよう。それを続け、習慣になることを目指す。
- 最初に「目標」をやる。
  - ・各学期目標を自分で決まっりしよう。次は自立学習です。
- 「課題」は自分のペースでやる。
  - ・まず、今日学んだ内容を、教科書、ノートで振り返ってみよう。
- 最後に学習がある日には「学習」も実施。
  - ・家で勉強することの重要性を自分自身で気づき知覚がある。

9年間での家庭における学習習慣の定着に向けた取組を「ドリカムプロジェクト」として整理し、小・中学校の各家庭に配付し、学校と家庭が一体となった取組を進めています。



【中学校で授業を受ける小学生】

〈取組のポイント〉  
各中学校区において、小中合同の交流研修会を定期的で開催し、小中一貫教育の推進体制を整えるとともに、学習規律や家庭学習、基礎・基本の確実な定着など、小中共通で取り組む事項を明確にするために、小・中学校の教職員が交流する機会を設定しています。

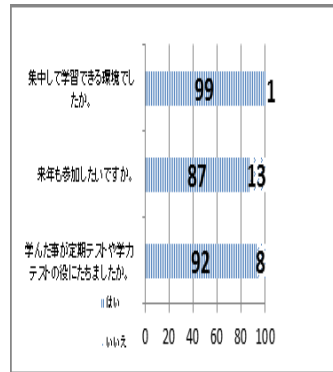
### ③ 地域の教育力の活用 ～民間の学習塾と連携した基礎・基本の定着～

#### 【C市の「Sスタディ」の取組】（中10校）

「社会総がかり」で子どもの可能性を伸ばすことが極めて重要であると考え、その体制づくりの一つとして地域にある教育力を活用して、学習塾と連携した土曜学習会を行っています。

#### 【土曜学習会「Sスタディ」】

- 1 目的
  - 生徒の基礎・基本の定着を目指し、実施します。
  - 学習に対する困り感を克服するきっかけとして実施します。
- 2 内容
  - 指導者
    - ・ 学習塾の講師が指導に当たります。
  - 内容
    - ・ 教科は「数学」と「英語」です。
    - ・ 必ず身に付けてほしい「基礎的な内容」を学習します。
- 3 受講
  - 希望するすべての生徒が受講できます。
  - 受講料は無料です。
- 4 予定
  - 8月から各学年とも9回実施します。



生徒アンケートの結果



外部講師による数学の授業

#### 〈取組のポイント〉

市教委は、学習の積み上げが必要な数学や英語の基礎を定着させたり、学ぶ意欲を喚起させたりすることができる場を生徒に提供するため、生徒が苦手としている単元や定期テスト及び学力テストに対応した内容を中心に、外部講師による学習会を実施しています。

### ④ 生徒による主体的なアウト・メディアの取組 ～生徒が主体的に生活習慣・学習習慣を考える場の設定～

#### 【D市の「生活・学習A c t サミット」】（中25校）

テレビ、インターネット、携帯電話、スマートフォン等のメディアのよりよい利用の仕方について、生徒が主体的に考えることができるよう、市内中学校の生徒会役員が協議する「生活・学習A c t サミット」を開催しています。

○市中学校連盟生活部  
**アウトメディアの取組のガイドライン**

【自分を大切にしよう】  
○学習時間や睡眠時間を確保しよう。  
○メディア使用のオン・オフの切り替えをしっかりと行おう。  
○個人を特定できる写真、学校名や住所などの個人情報他人に教えたり、ネット上に掲載したりしない。

【仲間を大切にしよう】  
○相手を思いやる気持ちをもとう。  
○メディアを通じたいじめや仲間はずれの事例に学ぼう。  
○悪口や写真をネット上に掲載しない。

【家族を大切にしよう】  
○1週間に1日「家族回らんの日」を設定しよう。  
○家族がいるときはメディアの使用時間を控えよう。  
○インターネットに関わる犯罪などに巻き込まれないよう親子で話し合おう。

平成28年7月26日  
生活・学習A c t サミット

生徒は、「自分を大切に」「仲間を大切に」「家族を大切に」という視点で、9つのグループに分かれて協議しました。また、弁護士や臨床心理士などの専門家、保護者ら16名が参加し、協議に加わり、「取組のガイドライン」を作成しました。



#### 〈取組のポイント〉

市教委等が中心となって、中学生が生活習慣や学習習慣について考える機会を設定しています。各中学校において、ガイドラインに沿って生活習慣・学習習慣の改善につなげる取組を生徒会が中心となって進めるとともに、校区の小学校児童会と連携しながら、児童生徒主体の取組を広げていきます。